

あれこれふあ



ICHIKAWA LIBRARY

参考業務月報

2024年4月号

発行：市川市中央図書館 編集：レファレンスカウンター 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 Tel. 047-320-3346

| | INF | REF | 子ども | 電話 | メール | 中央計 | 行徳 | BM | 南行 | 信篤 | 平田 | 駅南 | 全館計 |
|----|-----|-----|-----|----|-----|-------|-----|----|-----|-----|----|-----|-------|
| 4月 | 742 | 414 | 456 | 55 | 5 | 1,672 | 646 | 57 | 162 | 242 | 87 | 432 | 3,298 |
| 累計 | 742 | 414 | 456 | 55 | 5 | 1,672 | 646 | 57 | 162 | 242 | 87 | 432 | 3,298 |

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

レファレンス協同データベースをご存知ですか？

レファレンス協同データベース（レファ協）は、国立国会図書館が、全国の図書館等と協同で構築している、調べものためのデータベースです。普段皆様が利用しているインターネットの情報には、情報源が明らかでないものがありますが、レファ協では出典まできちんと明記されていて安心です！

市川市図書館も参加しており、「あれこれふあ」に掲載した皆様からのレファレンス事例をデータ提供しています。今回は、2023年に市川市が登録したレファレンス事例から閲覧数の多かった市川市のトップ5（2024.5.14現在）をご紹介します！

| | 質問 | 閲覧数 | 登録番号 |
|---|--|-----|------------|
| 1 | 「人生は一冊の書物である。パラパラとめくる～」という詩の全文が知りたい。 | 829 | 1000343159 |
| 2 | 呼び笛（ホイッスル）について、仕組みや吹き方を知りたい。 | 777 | 1000342776 |
| 3 | リレーの最終走者のことを「アンカー」というのはなぜなのか。スターター（starter）やランナー（runner）のように動詞+～する人（-er）なのか。 | 712 | 1000343164 |
| 4 | 江戸幕府歴代15将軍（家康～慶喜）のそれぞれの乳母の名前（春日局等）を知りたい。 | 549 | 1000344055 |
| 5 | 欧米の小説や映画では、パーティや催しもので作家が自作を披露したり、一般人でも有名な詩や物語などを家で朗読する描写があるが、欧米の朗読の文化についての本はあるか。 | 460 | 1000344047 |

回答が気になる方はレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) にアクセスして、登録番号で検索してみてください。

📄 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

I/L6 2000年ごろに「市川市東大和田 2-16-21」にあった、萩原製罐株式会社という企業について知りたい。①いつ頃からこの場所にあるのか ②この場所にできた時から「株式会社」だったのか ③昭和43年ごろの所在地の表記 ④「萩原製缶（株）市川工場」があったのが「市川市東大和田 2-16-21」なのか。またここ以外にも「萩原製罐株式会社」はあったのか ⑤いつ頃なくなったのか

①『市川市商工名鑑 1966年版』（市川市役所、市川商工会議所 1966）p.60に、「萩原製缶（株）市川工場 本行徳 3848」との記載あり。『市川市商工名鑑 1963年版』には記載がないため、1964年から1966年の間ではないかと推測される。なお、『市川市字名集覧』（市川市教育委員会 1973例言）p.41に地番「本行徳 3735～3856」は現在の住居表示「東大和田 2丁目 1～17」とあるため、同じ場所だと考えられる。また、1966年の住宅地図の51図に「萩原製缶 KK 市川工場」の記載があり、こちらからも同じ場所だと考えられる。

裏面に続く

②①の記載から、株式会社。

③『市川市商工名鑑 1966年版』では、p.60より「本行徳 3848」、『市川市商工名鑑 1971年版』では、p.126より「東大和田 2-16」。

④住宅地図では、市川工場の記載は、1966年から1981年まで「市川市東大和田 2-16-21」（1966年は旧住居表示のため本行徳）に「萩原製缶（株）市川工場」「萩原製缶 KK 市川工場」「萩原製缶 KK 市川工場」が確認できた。なお、『市川市商工名鑑（市川商工名鑑）』1958年、1963年、1966年、1971年、1982年、1988年、1998年版を確認したが、市川市内の他の場所では「萩原製缶（株）」は確認できなかった。なお、市川市外を調査したところ、『食料年鑑昭和 41 年版 名簿編』（日本食糧新聞社 1966）p.193（国会図書館デジタルコレクション（図書館送信）で閲覧可能）より、市川工場と同じ会社（本社と推測される）の「萩原製缶（株）」が「台東区浅草三筋町 1-13」にあることがわかった。

⑤2005年の住宅地図には、「萩原製缶（株）」が掲載されているが、2006年では空地になっているため、この頃と推測される。

Y/I いぼしんえん しくんてい 伊庭心猿の「此君亭」は、彼の死後どうなったのか。また、妻の名前が知りたい。

伊庭心猿は、『市川ひと事典 4 版』（市川ひと事典制作委員会／編 エピック 2004）p.114より「1908～1957。本名は猪場毅^{たけし}」。『永井荷風の東京空間』（松本哉／著 河出書房新社 1992）p.126-142「手児奈堂境内「此君亭」のこと」という章に詳しい。以下、著者が未亡人の暮らしている猪場氏の旧居を訪れた際の記述を一部抜粋。「真間・手児奈堂への参道です。（中略）その参道、左側の中ほどに二軒並んだ平屋の一軒が猪場氏の庵でした。」「木戸の柱には「小唄教室」と書かれた看板がかかっていますが、（中略）やがてあるものを見出し、目が釘づけになりました。「此君亭」と書かれた額です。」「ところが、そのご婦人がこの家の主、猪場千恵子さんでした。（中略）猪場毅氏より一まわり下の申年のお生まれということです。（中略）その御婦人は、まさに猪場毅氏の夫人なのでした。」

『市川市動態図鑑 昭和 32 年度改訂版』p.21（11 図）では、手児奈堂より 4 軒目に「伊庭小唄」の表記あり。同じ場所は、『市川市動態図鑑 1966（昭和 41）年版』p.85（第 31 図）は「伊庭」、住宅地図の 1970 年から 1990 年まで「猪場清彦」となっていた。1991 年以降は伊庭の表記がなく空白となっている。なお、『永井荷風の東京空間』p.133 より、「御息子の猪場清彦氏」との記載あり。

323.1 憲法に「移動の自由」について記載があるということだが、何条で条項はどのようなものか。英文ではどのように表現されているか。また、その条文の解説や背景をコンパクトに知りたい。

『憲法講義<人権>』（赤坂正浩／著 信山社 2011）p.163-168「第 16 章 移動の自由」に、該当条文が第 22 条と確認できる。解説、背景も記載あり。『原文で読む日本国憲法』（ぎょうせい 2017）p. 48 に、第 22 条原文、英文あり。また、『法学セミナー 2021 年 7 月号』（日本評論社）で特集が組まれていることを紹介。

他にもこんな質問ありました（クイック・レファレンスから）

| 分類 | 質問 | ⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など |
|-------|--|----------------|
| I/B1 | 日出学園の設立の経緯について知りたい⇒『市川市史 第 3 巻 近代』（市川市史編纂委員会／編集 市川市 1975）p.641 に、日出学園の設立年と設立者について記載あり。『日出学園五十年誌』（日出学園 1984）p.13 から掲載の「学園史」に創立の経緯について詳しく記載あり。 | |
| 779.1 | 「長屋の桜」という落語のあらすじがわかる本はないか⇒「長屋の桜」ではなく「長屋の花見」とのこと。『落語入門』（渡邊寧久／監修 成美堂出版 2008）p.20-21、『あらすじで読む古典落語の名作』（野口卓／著、柳家小満ん／監修 楽書館 2004）p.120-121。 | |
| E 31 | 保育園でアルファベットを子どもに教えるのに、参考になる絵本はないか⇒『絵本 ABC』（五味太郎／作 岩崎書店 1983）、『ワイルドスミスの ABC』（ブライアン・ワイルドスミス／さく・え らくだ出版 1982）を紹介。 | |